

日野川流域林業まつり

第一部 森林学講座(11月12日)

参加者 60名

鹿児島大学 遠藤教授

先進林業地は「吉野」「北山」「尾鷲」といわれ、
その他は後進林業地だがそれは拡大造林地である。
そのちがいは、時間の差だけのこと。

各地域の価格体系について昭和55年が変化点
これからは伐採の段階からトレーサビリティに載
せていくことになる。

需要拡大の体制が必要。

林業におけるコストダウンは限界に至っている。適切
な丸太価格を目指す必要がある。

再造林放棄の助長はダメ、最低限1万5千円の丸太
価格を、全体としては上げ基調に入っている。

コマツ山陰(株)山根サービス部長

機械の環境対策コスト

定期的な点検維持の重要性

メーカーは苦情を待っている

鳥取県河原統轄監

平井県政の約束事項等について(企業誘致でなく、雇用の拡大)

農業政策では416億円の生産額に対し

123億円の県予算、林業政策では58

億円に対し57億円を投入している。

第二部 イベント(11月13日)

入場者数 800人

丸太切り競争

一般の部 参加者9名 丸太径30cm 使用鋸 36cm

女性の部 参加者3名 丸太径15cm 使用鋸 27cm

子供の部 参加者4名 丸太径15cm 使用鋸 27cm

最近の林業ではチェーンソー作業がほとんどであり、鋸を使う
ことはまれなことだからか、年長者の健闘が目立った。

また、丸太径に比し鋸が短かったことから、悪戦苦闘の競技
になった。

優勝者への賞品は、一般の部、女性の部とも日南高原米

30kg、子供の部で同じく10kg、をはじめとして その他
入賞者・参加者に日南高原米が送られた。

ミュージックイベント

山陰の歌姫「六子(ロコ)」さんのライブステージ。

追っかけファンも詰めかけ、年長者も・若者も楽しんだステージ
であった。六子さんも林業関係者の作業服姿に感動された。

展示等

林業に関する各種のパネル展示、ミニチュアツリーハウスの作品
展示と一般入場者による投票審査があった。

工場見学会

林業まつりにあわせ、(株)オロチの工場を一般の方にも見学していた
だくよう案内したところ、数班に分けて案内することになるなど、
多くの方々に見学していただいた。

岡山からお出での方も、工場見学され「こんなところにこんな工場
があるとは」と驚かれ、森林を中心とした産業が動いているとの
実感を語られた。

